

はじめは・・・

年一度開かれていた着物愛好家の集まり、早坂伊織さんの「男のきもの大全会」。1999年の大全会の後、「定期的に銀座で会いましょう。」と約束した人たちがいました。そして最初に集まったのがその年の12月。その時集まった14人・・・これが「きものde銀座」の始まりでした。



年に一度の「男のきもの大全会」だけでなく、定期的に着物で集まる会を作ろう！という趣旨で始めた「きものde銀座」。最初は毎週土曜日という設定でしたが、誰も来なくて淋しい思いをした方もあり、2月から月に一度の集りに変更しました。今回は、2000年2月12日（土）に集まった時の模様を掲載します。毎月第2土曜日に定期的に集まりますので、都合がつく方はぜひご参加下さい。（早坂伊織・男のきもの大全会より）

それから・・・

インターネットで「きものde銀座」の存在を知った人たちが、第2土曜日の和光前に集まり始めました。2000年3月には「美しいキモノ」の取材が入り、中央通りを闊歩する着物姿の集団が「美しいキモノ」のページを飾り、それを見た非ネットの方々も銀座に集まるようになっていきました。そして・・・。在京全てのテレビ局で様々な形で「de銀座」が取り上げられ、そのたびに参加者が増えていったのです。

困った・・・

どんどん大きくなっていく「きものde銀座」。はじめの頃からいるメンバーは戸惑いました。「きものde銀座」は着物好きが集まって自分たちで運営し作り上げていく集団だった。それがマスコミに取り上げられ、大きくなっていくにしたがって、「ここに来れば何か楽しい時間を作ってくれる・・・」そう考える、受け身の方々が増えていったのです。

「今日はどこを案内してくれるの?」「今日はどんなイベントがあるの?」

そうじゃないんだな。「自分がイベントを作るんだよ。」「自分がみんなを案内するんだよ。」

きものde銀座事務局「だんな」こと牧田氏は、上にある写真の時からほとんど毎回「de銀座」に参加し、皆さんを銀座裏通りに案内してくれました。でも、もう6年。本当にお疲れ様でした。

これから・・・

常時100人近い人数が集まる「de銀座」。マスコミ等で暖かい扱いを受けている一方で、ネットの着物世界では厳しい批判にも晒されています。「群れているのが嫌」「ボロ着物着ていて汚い」「銀座にそぐわない」「ジャマ!」等々。ネット上で大激論を巻き起こしたこともありました。でも、みんな着物が好きです。銀座が好きです。「きものde銀座」を続けていきたい。銀座の街の中で、皆さんに愛される「きものde銀座」でありたい。

皆さんにお願い

「きものde銀座」に参加して下さる皆さんにお願いです。どうかあなた自身が「きものde銀座」を作っているのだという気持ちで参加してください。「きものde銀座」には会則もありません。名簿もありません。着物好きがふらっとやって来て、自然にみんなと仲間になれる場所・・・それが基本的な考え方です。だれかに頼るのではなく、自分が主役になる・・・。そんな「きものde銀座」を作っていきます。

2006年からの「きものde銀座」は参加者が交替で運営します。私も・・・私も・・・ そんな声が溢れてくることを期待しています。

「だんな」こと「牧田さん」、長い間ありがとうございました。もう顧問としてゆっくりしてください。あとは、参加者のみんなが受け継いでいきます。ご意見番として「de銀座」を楽しんでください。でも、「だんな」にしかできない「銀座裏通り案内」は続けてくださいね。